

にいがた

畜産協会たより

公益社団法人

新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL.025-234-6781~6783



親子バレンタイン・ホワイトデーお菓子教室

目次

- ◆ 令和8年度の事業計画と予算の概要 …… (2)
- ◆ 令和8年度の事務局体制 …… (4)
- ◆ 昨年度の共進会の結果報告 …… (4)
- ◆ 親子バレンタイン・ホワイトデー …… (5)
お菓子教室を開催しました！
- ◆ 馬事畜産振興協議会 …… (6)
地方競馬ミルクウィークを
開催しました！
- ◆ にいがた畜産女子会 …… (6)
活動検討会・勉強会を開催しました
- ◆ 海外畜産事情研修報告 …… (7)
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより …… (8)
- ◆ 編集後記 …… (8)

令和8年度の事業計画と予算の概要

令和8年3月25日開催の令和7年度第4回理事会において、令和8年度事業計画及び収支予算が決定されました。

当協会は、今年度当該事業計画に基づき農林水産省及び（独）農畜産業振興機構が実施する事業実施主体の公募に参加し、国、県及び中央団体の指導のもと、会員、関係機関及び関係団体と連携して、経営安定対策、生産性向上対策や家畜衛生対策など公益性の高い事業に取り組み、畜産経営体への諸支援に努めます。また、引き続き事務局体制の健全な運営をめざして諸課題に取り組みます。

○事業計画骨子

公益目的事業

畜産物の価格変動による損失を補填する事業、畜産業を営む者の経営の指導、家畜の飼養管理及び保健衛生に関する技術指導、畜産の理解増進及び畜産物の消費拡大を図る事業等を通じて畜産の振興に寄与する事業

(1) 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

肉用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の両法律事業を適切に実施します。

(2) 畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導等を実施する事業

ア 生産者等からの各種相談に応じるため、獣医師、総括畜産コンサルタント、畜産コンサルタントから成る相談窓口を設置して助言・指導をするとともに、職員が研修会等に参加してスキルアップを図ります。

イ 経営・生産基盤の強化により収益性の高い経営体を育成するため、中心的経営体指導強化推進事業を中心とした各種の経営改善指導や畜産経営セミナーの開催、「にいがた畜産女子会」の活動支援を実施します。



畜産経営セミナーの様子

(3) 高能力家畜、器具・器材等の導入及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

ア 畜産経営基盤を強化するため、「新潟県畜産振興クラスター協議会」の事務局として畜産クラスター事業等を活用した生産性向上に係る機械導入支援や肉用牛繁殖基盤強化を目的とした肉用牛経営安定対策補完事業を実施します。

イ 家畜疾病の清浄化や飼養衛生管理の強化に向けた取り組みを支援するため、牛疾病検査円滑化推進対策事業及び家畜生産農場衛生支援対策事業に関連する衛生対策事業を実施します。

ウ 家畜伝染病のまん延防止を目的として、畜産農家の初動防疫活動体制の整備推進を行うために、生産者段階での防疫演習を開催するとともに、口蹄疫、CSF等の悪性伝染病が万が一発生した場合、農場の経営再開を支援するため、生産者が基金を造成して互助補償を行う制度を推進します。

エ 新潟県内養豚農場におけるPRRS（豚繁殖・呼吸器障害症候群）清浄化を実現するため県内養豚場におけるモニタリング検査の実施、陽性農場における管理獣医師の巡回指導及び清浄化確認検査を行う事業を実施します。

オ 新潟県内で産業動物獣医師又は新潟県畜産獣医師（県職員）として就業を希望する獣医学生に対し、修学資金を卒業まで給付する事業を実施します。

カ 伝染病の発生や災害発生時等に畜産経営体等に対する緊急対策を実施します。



防疫訓練の様子

(4) 衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業

食の安全・安心を求める消費者ニーズに対応して、HACCPの考え方に基づく衛生管理手法を取り入れた「畜産安心ブランド生産農場」の認定を推進します。



畜産安心ブランド認定マーク

(5) 畜産の理解増進及び畜産物の消費拡大を図る事業

- ア 生産性向上による安定した品質・供給体制の確立を図るとともに、「にいがた和牛」のブランド力強化及び消費拡大を推進し、流通の適正化と生産振興に取り組みます。
- イ 畜産や畜産物に対する県民の理解増進を図ることを目的として、新潟県産畜産物を使った料理教室の開催やHPを利用した情報発信をするなど消費拡大のPRに努めます。



にいがた和牛ロゴマーク



にいがた和牛イメージキャラクター「ニーモ」



「バレンタイン・ホワイトデーお菓子教室」

○予算の概要

計画事業費

(単位：千円)

区分	事業等名称	計画事業費額	備考
畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業	・肉用子牛生産者補給金制度 ・肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン制度)	11,982 25,287	・肉用子牛補給金等 ・牛マルキン交付金等
畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導等を実施する事業	・地域畜産支援指導等体制強化事業 ・畜産経営診断に関する事業 ・畜産特別資金等推進指導事業 ・畜産近代化リース貸付指導事業 ・畜産物輸出対応生産円滑化対策事業 ・畜産女性活躍・連携促進事業 ・畜産活性化推進事業 ・豚熱経口ワクチン散布新潟県協議会会計業務 ・その他指導分析等に関する委託事業	19,442 5,798 1,823 446 1,000 300 500 224 1,025	・畜産コンサル等 ・地域の共進会等支援等 ・事業数4件
高能力家畜、器具・器材等の導入及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業	・畜産クラスター等推進業務 ・その他器具等導入に関する委託事業 ・肉用牛経営安定対策補完事業 ・優良繁殖雌牛更新加速化事業 ・優良和子牛生産推進緊急支援対策推進事業 ・和子牛産地盤強化緊急特別対策推進事業 ・家畜生産農場衛生対策事業 ・牛疾病検査円滑化推進対策事業 ・家畜防疫・衛生指導対策事業 ・馬飼養衛生管理特別対策事業 ・獣医師養成確保修学資金給付事業 ・地域養豚生産衛生向上対策支援事業 ・家畜防疫互助基金支援事業推進業務 ・野生獣衛生地域対策推進事業 ・馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ・その他家畜衛生関係事業 ・新潟県畜産経営安定等緊急対策事業	975 703 2,679 735 409 472 2,219 527 9,542 696 10,303 2,436 1,401 328 934 40 2	・事業数2件 ・離島対策等 ・地域の疾病対策支援 ・防疫演習支援継続 ・新規1名募集 ・事業数2件 ・必要となった場合改めて計上
衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業	・畜産安心ブランド生産農場認定事業	800	
畜産の理解増進及び畜産物の消費拡大を図る事業	・にいがた和牛生産振興事業 ・畜産理解増進・消費拡大事業 ・地域畜産フェア拡大推進事業 ・馬事畜産振興推進事業	2,295 2,367 2,000 600	
合計		110,290	

令和8年度の事務局体制

○ 人員配置

課	職名	氏名	備考
専務理事		朝比奈 均	事務局長兼務
事務局次長		樋口 良平	
総務課	課長	鈴木 奈美子	
	主事	青木 貴寛	
	事務補助員	関 朋子	
業務課	課長	谷川 昌行	
	係長	佐藤 紫織	
	係長	真保 春紀	
	技師	稲葉 未紘	新採用
	事務補助員	笹川 敬子	新採用

○ 各課の所管業務

課	主な担当業務
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・庶務及び経理に関する事務 ・肉用子牛生産者補給金制度 ・肉用牛肥育経営安定交付金制度
業務課	<p>【経営支援関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛経営安定対策補完事業 ・畜産経営診断に関する事業 ・畜産クラスター等推進業務 ・畜産理解増進事業 ・畜産相談窓口の設置 ・にいがた和牛推進協議会 ・にいがた畜産女子会 ・新潟県畜産振興クラスター協議会 <p>【衛生指導関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜生産農場衛生対策事業 ・家畜防疫互助基金支援事業 ・牛疾病検査円滑化推進対策事業 ・家畜防疫・衛生指導対策事業 ・獣医師養成確保修学資金給付事業 ・馬飼養衛生管理特別対策事業 ・地域養豚生産衛生向上対策支援事業 ・野生獣衛生地域対策推進事業 ・馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ・畜産安心ブランド生産農場認定事業

昨年度の共進会の結果報告

当協会では、本県の畜産振興に寄与するため、主に県下一円又は市町村の範囲以上を参加地域とする畜産共進会等において、優れた成績を収めた方に対し賞状及び副賞を交付しています。

昨年度は、令和7年6月から12月までに7ヶ所の共進会で交付いたしました。詳細は下記のとおりです。

行事名	主催者	賞名	受賞者	住所
第48回 津南町 肉豚枝肉 共励会	津南町 養豚組合	最優秀賞	山岸 修	中魚沼郡 津南町
第32回 J A 佐渡 和牛共進会	佐渡 農業協同 組合	優等賞 (未經産)	中川邦昭	佐渡市
		優等賞 (経産)	古城富久	佐渡市
三J A合同 肉牛枝肉 勉強会	J A新潟市 肥育牛部会	ベスト 枝肉賞	五十嵐正平	新発田市
第23回 J A 魚沼 十日町 養豚部会 枝肉共進会	J A 魚沼 十日町 養豚部会	最優秀賞	(有)姿農場	十日町市
		優秀賞	(株)平野養豚	十日町市
令和7年度 新潟県 子牛共進会	全国農業 協同組合 連合会 新潟県本部	最優秀賞	阿部吉克	長岡市
第70回 新潟県 肥育牛 求評共励会	全国農業 協同組合 新潟県本部	最優秀賞	漆間 平	村上市
		優秀賞 1席	和田一男	小千谷市
		優秀賞 2席	小野耕司	胎内市
くびき肉牛 枝肉研究会	えちご上越 農業協同 組合 肉用牛部会	最優秀賞	荻谷耕治	上越市

(敬称略)

親子バレンタイン・ホワイトデーお菓子教室 を開催しました！



2月8日（日）、新潟県畜産振興協議会と新潟調理師専門学校様のご協力のもと、バレンタイン・ホワイトデーお菓子教室を開催し、延べ16名が参加しました。

この料理教室は県産畜産物を食材として用いて、そのおいしさを参加した方に知ってもらうことにより、新潟県の畜産に対する理解を深めてもらうという目的で毎年開催しているものです。

今回はこれまでの料理教室で実施したアンケートの中で「作ってみたい」と要望の多かった「お菓子」をテーマに、食材としてにいがた畜産女子会のメンバーである有限会社ツバメファームと株式会社神田酪農が生産した卵・牛乳を使って「ショコラロールケーキ」を調理しました。

講師を務めていただいたのは新潟調理師専門学校の高橋恭子先生です。

スポンジから仕立てる本格的なケーキ作りでしたが、先生の丁寧な説明と専門学校の皆様の手厚いサポートのもと、参加者の皆様は素敵なケーキを作り上げることができました。

当協会では今年度も、同様の料理教室の開催を計画しています。



講師の高橋恭子先生



協会ホームページに、これまでの料理教室の
レシピ検索ができるページを新設しました！



馬事畜産振興協議会 地方競馬ミルクウィークを 開催しました！

地方競馬全国協会では、令和5年以来、牛乳・乳製品の消費拡大を目的として、地方競馬が一丸となった取り組み「地方競馬ミルクウィーク」を開催しています。

これは、国内の生乳消費が落ち込む春休みの時期に合わせて開催する生乳消費拡大キャンペーンで、期間中は全国の地方競馬場で国産生乳を使用した牛乳・乳製品の配布と協賛レースの開催を行っています。

新潟県馬事畜産振興協議会もこのキャンペーンに参画し、3月15日（日）、北陸四県唯一の地方競馬場「金沢競馬場」において、牛乳と飲むヨーグルトの配布・冠レース「がんばれ！新潟の酪農応援賞」を開催しました。

当日は最高気温10℃、最低気温4℃とまだまだ寒い中での開催となりましたが、多くの方にご来場いただき、用意した牛乳と飲むヨーグルトをすべて配ることができました。

また、冠レースは馬名グランヴァールが一着となり、レース優勝者には副賞として株式会社佐渡乳業の乳製品ギフトセットを贈呈しました。

全国競馬場におけるイベントと平行して、インターネットでも地方競馬ミルクウィークも開催されており、多くの方に酪農と競馬に興味を持っていただける機会になったと思います。



にいがた畜産女子会 活動検討会・勉強会を 開催しました

3月24日（火）、今年度3回目の女子会となる「活動検討会・勉強会」をアートホテル新潟駅前（新潟市中央区笹口）にて、午前の部と午後の部の2部構成で開催しました。

午前の部の活動検討会では、これまでの女子会内容を振り返りながら今後の活動について意見交換を行いました。参加者からは、農場や家畜市場への視察や、畜産・農業関係資材の展示会での情報収集のほか、農場などの宣伝資材に使用する上手な写真撮影方法を学ぶ勉強会、仕事で疲れた体を癒す効果的なストレッチの仕方を学ぶ会など、畜産・農業に限らない、多くの自由な意見が上がりました。

午後の部の勉強会では、MoonBell 合同会社の篠美穂先生より「豊かな将来を創造するには」をテーマに、自身のライフイベントをどのように実現したかを起点として、資産形成のあり方や、資産を増やすための具体的な方法について学ぶことで、投資の仕組みや手法、保険プランの種類など幅広い知識を得ることができました。参加者からは、将来設計の方法や、今からできる具体的な備え方などの質問や意見が活発に飛び交い、大変有意義な勉強会となりました。



午後の勉強会の様子（篠先生を囲んで意見交換）

海外畜産事情研修報告

総務課 鈴木 奈美子

令和7年10月27日から11月8日までの13日間、海外畜産事情研修に参加し、ドイツ、フランス、スペインの3か国を訪問しました。

ドイツでは、フランス国境付近の南西部を中心に、家族経営を基盤とした有機農場や第三者継承の支援を実施している農業連合、肉用牛・バイオガスプラントを活用した多角経営の現場を視察しました。

フランスではアルザス地方を訪れ、伝統的なマンステールチーズの生産に関する調査を行い、ガイドツアーを行う酪農家や家族経営のチーズ工房、コルマルのマーケットホールを訪問しました。

研修の後半はスペインに滞在し、バスク地方では地域固有種の羊を守るための羊毛農家、豚の放牧を行う協同組合、理念に賛同する組合員が設立した乳製品協同組合、ウエスカ地方では大規模酪農経営、またマドリードでは複合農業事業体やサン・ミゲル市場を訪問しました。

今回の研修を通じて、フランスアルザス地方の家族経営のチーズ工房が4世代に渡り続いており、伝統であるマンステールチーズを守り続けていることや、バスク地方の協同組合が伝統的な複合農家が安定した経営ができるよう支援していることは非常に感銘を受けました。また大規模農場で稼働する機械の迫力や広大な土地のスケールには大変驚かされました。

今回得た国際的な視点を今後活かし、新潟の畜産振興に貢献できるよう努めて参ります。



移動式鶏舎（撮影場所：ドイツ）



豚の放牧（撮影場所：スペイン）



大規模搾乳機（撮影場所：スペイン）

国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもろう

畜産物を生産するためのコストが
上昇しています。

皆様に国産の畜産物を食べていただくことが
生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会

中央畜産会 
TEL.03-6206-0840 

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

畜産安心ブランド生産農場だより

長岡市 関 克史 (肉用牛)

私は山古志で黒毛和牛90頭の一貫経営を行っています。

東京農業大学を卒業後就農、父と仕事をして1年半が経った時、中越地震が発生しました。牛舎から飛び出るとすぐに倒壊し、牛たちは下敷きになり、30頭が犠牲になりました。また、父が脳出血を発症し、そのタイミングで実質の代替わりとなりました。(今、父は元気です！正式な経営移譲は平成30年。)

地震後全村避難となり、生きていてくれた牛たちは野放しにせざるを得ませんでした。1カ月後、野生化した牛たちを大勢の方のご協力でもヘリコプターにより救出し、それから3年間、間借り牛舎で育て、その後山古志へ帰ってくることができました。

これまで本当に多くの方々から御支援を頂き、今牛飼いが出来ていることに感謝の日々です。

震災の1年後には大学時代の後輩だった妻と結婚し、仮設住宅で新婚生活を送り、今は夫婦で仕事をしています。(遠距離だった妻とは、震災後はたまに会うデートも牛舎という日々でしたが、付いてきてくれた妻にも感謝です！)



我が家は完全一貫経営なので、母牛への種付けから分娩、哺育、育成、肥育、出荷までを行い、年に数頭「山古志産にいがた和牛」として精肉の直接販売もしています。よりストレスがかからないよう山古志産まれ、山古志育ち、生まれてから同じ環境で同じ人が最後まで育て上げます。さらに美味しいお肉を追求するため、自家配合の餌にもこだわっています。精肉販売ではリピーターさんが多く、初めて食べた方が驚いてくれるのは最高の喜びです。

また、山古志の「牛の角突き」にも携わっています。勝敗を付けず引き分けにする伝統文化や、文化によって生まれる交流、その魅力を是非感じていただければと思います。

地震以降、悔いのないよう一日一日を生きるようにしています。少しでも地域貢献ができるよう、そして、私たちが育てた和牛で最高の笑顔になってもらえるようにこれからも精進していきたいと思っています。

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 9

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：ヨーロッパアルプ酪農の力とチーズ街道 オーストリア・ブレゲンツァーヴァルト / 日本畜産学会100周年 第132回大会総集編 / 国際養鶏養豚総合展 2024 総集編 ほか



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

編集後記



会報誌の編集担当は当番制なのですが、令和3年の大雪の時にもちょうど4月発行号の当番が私に回ってきました。当時は新潟市内でもカーポートの雪下ろしをする必要があるほど降りましたが、今年は新潟市内ではそれほど降らなかったものの、山沿いを中心に記録的な大雪となりました。畜産関係でも被害が出ていると聞いておりますので、お困りのことがある場合は当協会が開設している相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

(編集担当：谷川)